

☆ ☆ みんなで、おはなしをする語りかけの本 ☆ ☆

しぜん ちから 自然の力で、おきること！

～風がふいたら、雨が降ったら、地震や津波がきたら～

花言葉入り

わたしたちは、^{くうちゅう}空^う中に浮いてくらすことはできません。^{ちきゅう}地球の
^{ひょうめん}表面でくらしています。^{ちきゅう}地球は生きていますので、さまざまなこと
がおきます。そのたびに、つごうがわるいこともおきますが、ケン
カしてもかてません。その^{ひがい}被害をさけるには、^{あいて}相手のふるまいをみ
てうまくかわすことしかできません。でも、こわいけど、^{しぜん}自然には
いいところもたくさんあります。^{あいて}相手をよく^し知って、^つお^あ付き合いを
していくことが^{だいじ}大事です。

まえがき

私たちが住んでいる、この日本は、地理的な位置から、自然災害からは避けられない宿命にあります。まず、世界でもまれなプレートが4つもぶつかり合い、沈むというような大地変動の上にいるということです。そのために、地震や火山活動ということから、逃げることはできません。そして、日本列島は東南アジアの端部にあることで、温帯になっていて偏西風の影響を受けるために気候変動を受けます。そのために、梅雨、集中豪雨、台風、豪雪といった現象が日常的になっていて、地質が脆弱で雨量が多く、狭い国土のために人口改変も少なくない、ということになれば、社会経済的な要因も加わって、自然災害が起きるための条件がそろっているようなものです。そして、近年はその条件が大きく顕在化してきているような予感さえあります。首都圏直下地震、南海トラフ地震といった発生リスクが高まっていますし、豪雨のパターンの変化などが変化の傾向が明白になっています。

このような心配事に対して、どうすればよいのか、何ができるのかを知ることには大変重要なことです。そのためには、自然災害になるところの原因や、災害の内容について事前に知っておくことが、大変大切になります。そして、我が国の自然環境に、継続して関心を持ち続けることが、災害が発生した時に、正しく情報を判断して、避難行動につながるものです。

自然災害は、ウイルス感染症と同じで、何がいつ起きるのがわからない状況で、どう行動すればよいのか、ということは大変難しく、錯綜した環境で最適解、選択を探りあって行動するということは、言うは易く難しいものです。

しかし、正しく恐れるという言葉があるように、正しい知識が基本にないと応用が利かないわけで、その基本は、あらゆる機会に学習することです。現実には、科学技術で自然現象をコントロールはできないし、災害による被害はすべて予測可能で、対応可能なものだけではありません。これからどのような新型の災害が出てくるかわかりませんが、少なくとも正しい行動をとらなければなりません。自分だけでなく周りにも影響を及ぼすことになり、正常化するのには大変なエネルギーと、コストがかかることになり、下手すると国の存亡にもかかわるということになりかねません。

自然災害では、これまでの科学的知見と、地域を知ることが最も基本的なことになると思います。そして、避けられないものゆえに、どのような知恵を持つべきか、少なくとも災害に遭遇した時に、想定外ということがないようにしていかなければなりません。

この本は、大人のための読み聞かせ虎の巻ということで、構成は、本文と解説となっています。本文は、“つかみ“というか“はなし出し“のためのテーマ

です。そして、一見、絵本のようなのですが、絵はありません。その代わりにイメージとして花言葉を添えています。解説を読んで、花言葉からイメージしながら、自分なりにお話するためのものです。自然災害について、関心を持つ機会になってほしいという願いですので、読み手に様々な工夫をお願いしたいと思います。

そのために、この本を基本にして、自然災害について正しく、読み手が工夫されて伝えるようにしていただければと思います。

内 容

1. ^{さいがい} 災害はなぜおきるのか	1
2. ^{さいがい} 災害はなぜこわいか	3
3. どこで、なにがおきるのか	5
4. ^す 住んでいるところはどんなところ	7
5. なにをしらべたらよいの	9
6. どこで、なにをしらべるの	11
7. マイマップ(じぶんのちず)をつくろう	13
8. マイマップ(じぶんのちず)のつくり方	15
9. あぶないところ、ものはなに	17
10. ひなんじょはどこにあるの	19
11. やくにたちそうなものはなに いつものそなえ	21
12. じぶんの ^{ちず} 地図をそだててみよう	23
13. さいがいがあったら、 ^{ただ} 正しく ^{こうどう} 行動する	25
14. だいじょうぶは、だいじょうぶでない	27
15. たすけよう、そのまえにたすかろう	29

1. 災害はなぜおきるのか

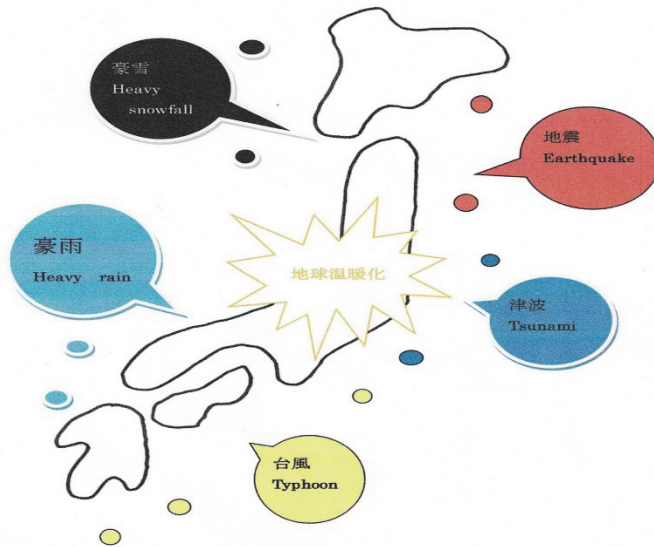
ちきゅう げんき ほし
地球は、まだまだ元気な星です。

わたし す ちひょう つね へんか
そのために私たちが住んでいる地表は、常に変化しています。

にほんれつとう しぜん げんしょう
その日本列島は、ときどき、はげしい自然の現象がおきます。

かざん ふんか じしん おおあめ たいふう
火山の噴火、地震、大雨、台風などがあります。

そのために、さまざまな困ったことも起きます。



日本列島は自然災害の宝庫、いつでもどこでも起きています



植物名：アサ
(アサ科アサ属、1年草
中央アジア原産、人類が初めて栽培して10,000年)

花言葉：運命

(解説)

日本列島は、アジアの東南部に位置していることから、四季があり世界的にも雨量が多いモンスーン気候帯にあるために、比較的温暖で自然が豊かで景観も素晴らしい国土です。

また、地球の表面はいくつかのプレートというジグソーパズルのような岩盤からなっていて、そのプレートは常に移動し続けています。そのプレートが、列島には4つも交差していて、押し合いへし合いしているところにあるという、まさに変動列島に住んでいます。

そのような中に、自然災害の素因として、地形とか地質があります。そして、誘因としては、台風や地震といった気象現象があります。そのような大きな地表の変化は、私たちの住んでいるところを襲って被害や多くの犠牲といった損害を与えます。しかし、自然は恐ろしい、はむかうことができないものではありますが、同時に多くの恩恵にあずかっていて生活ができているというありがたい存在でもあります。